

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	ながおか医療生活共同組合	代表者	羽賀 正人	法人・事業所の特徴	法人は複数の診療所と介護事業を展開している医療生活協同組合で、当事業所はH19年11月に開設した小規模多機能型居宅介護である。同一の敷地内に介護付有料老人ホームと特別養護老人ホームが併設されています。また協力医療機関である、ながおか生協診療所や隣接の事業所と密に連携を図って、ご利用者が安心して暮らせるようにしています。
事業所名	プラット高町	管理者	清水 昭子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1 人	2 人	1 人	1 人	2 人	1 人	2 人	1 人	1 人	12 人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> ●3ヵ月に一度、部署会議にて改善計画を振り返り、取り組んでいく。 	<ul style="list-style-type: none"> ●部署会議で振り返りや行っている取り組みを確認し合い実施に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ●スタッフの皆さんが改善計画に取り組んでおられました。 ●具体的にどのような点を改善できたのかわかるとありがたいです。 ⇒改善計画の他にご利用者に対する職員の不安や疑問は日々出てくる為申し送りや毎月の部署会議でその都度話し合い改善し取り組んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ●毎月の部署会議にて職員の不安や疑問を話し合う場を作ると共に改善計画も進捗状況を確認し、実施する。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> ●地域の方々により深く知っていただけるよう積極的に挨拶や声を掛けるようにしていく。 ●掃除チェックリストの定期的な見直しを行い、連日の掃除箇所の他、月1度行う掃除箇所の日程を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●隣接するわいが家や2Fの公民館を利用される方へ挨拶を心がけた。 ●掃除や環境整備の計画や見直しを行う班を中心に声を掛け合いながら実施できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ●広いスペースがあり、行事やイベントを行う際に良い場所があると思いました。公民館が併設されている事は地域と繋がれる強みかと思えます。 ●ご利用者は勿論ですが、そのご家族や職員にとっても居心地が良いと感じられる環境に今後も随時変更して行っていただきたいです。 ●丁寧な声掛け、掃除を行っていたのがわかりました。 ●地域の方々への事業所への認知度に変化はありましたか？（上がりましたか？） ⇒事業所自体は認識されているが、どんなサービスが受けられるのか分からない方がほとんどです。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ホールや玄関などの壁面に季節に応じた飾りつけをご利用者と一緒に行うことで心地よい空間を作っていく。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ●地域の方が行っている運動教室へは参加が難しいが、今後地域の行事がある場合は積極的に参加する。 ●地域の方に定期的に回覧している「高町だより」の他に事業所独自のPR誌を作成、回覧することで身近な事業所である事をアピールしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ●新型コロナウイルス感染症の為、地域の行事が中止になり参加することが出来なかった ●事業所独自のPRチラシを作成し、回覧板や各家へ配布を実施、他、コミュニティセンター内に掲示してもらった。 	<ul style="list-style-type: none"> ●個人情報等で難しい部分はあると思いますが、回覧板のPRチラシをきっかけに日々の困りごとやサービス利用について等を相談できるような仕組みがあると、次の関係作りに繋がるのではないかと思います。 ●事業所独自のPRチラシを各方面に周知しているということですが、地域の方々の反応はいかがですか？広く地域の方に事業所を知ってもらい良い取り組みだと思います。 ⇒すぐに反応はないと思っているため地道にチラシ配布をしていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域の方に定期的に回覧している「高町だより」の他に事業所独自のPR誌を作成、回覧することで身近な事業所である事を継続してアピールしていく。

<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>●例年の地域イベント、行事がある場合は参加していく。文化祭へ参加できるよう作品作りを行っていく。</p>	<p>●日々ご利用者と製作している。先日展示会に作品を出展したが見学には行けなかった。</p>	<p>●行事や外出を積極的に行われている印象があります。 ●日々の制作を見せていただくとスタッフがご利用者にどんな風に関わっているか、その頑張りが伝わってきます。 ●作品を出展できたということで利用者の皆様も目標を持って作成にあたることはやりがいに繋がったことと思います。 ●「見学に行けなかった」のは感染症対策からでしょうか？ ⇒感染対策からです。</p>	<p>●地域のイベントには積極的に参加していく。また、小学生との交流も新しいやり方を考えながら実施する。</p>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>●委員の方の意見や、他法人の取り組み等を参考にして自事業所の取り組みに活かす。</p>	<p>●書面での開催となったが頂いた意見等は事業所内で回覧した。他法人の取り組みを書面で見ること、実践はできていないが改善点が少し見えてきているが報告できるまでには至っていない。</p>	<p>●前回の改善計画で行えていない課題を今回取り組むのはいかがでしょうか？ ●書面の回覧で現場で活かせる所があれば取り入れていただければと思います。 ●事業所内で意見等を回覧したとありますが、他の職員の方の意見等は何か聞かれていますか？ ⇒ご利用者の緊急時の対応や予測できない事態が起こった場合の判断や対応の不安が出てきた為早急に再確認を行いました。 ●他の事業所の取り組み等からどのような改善点が見えてきたか差し支えない範囲で教えてください。今後、改善に生かしていただければと思います。</p>	<p>●委員の方の意見や、他法人の取り組み等を参考にして自事業所の取り組みに活かす。</p>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<p>●災害訓練に参加いただけるよう案内を行う。協力体制を再確認し連携できる体制を整える。</p>	<p>●6月・10月の防災訓練の際、見学に来ていただいた。協力体制については今後の検討課題である。</p>	<p>●地域といかに連携していくかが大事になると思います。協力体制を願う事も容易ではないかと思いますが、非常時には重要な救助者になり得る存在なので体制を作ることが必要。 ●この頃はいろんな災害が考えられ、防災対応は忙しい中大変とは思いますが、訓練の実施をお願いします。 ●災害はいつ起きるかわかりませんので、明確になった課題については、早急な対応策の検討をお願いいたします。 (資料でいただいた「防災訓練参加者報告①」の課題は他の推進会議でも耳にします。施設の見取り図を配布したり避難後の利用者の見守りをお願いしたい等、具体的に依頼されている事業所が多いようです。)</p>	<p>●災害訓練に参加いただけるよう案内を行う。協力体制を互いに確認しあい連携できるよう詳細を決め、体制を整える。</p>